

保育所における自己点検・自己評価

令和6年度

項目		十分達成している	ほぼ達成している	一部検討を要する	改善を要する
園組織	分園が開設され、4、5歳児（幼児クラス）が移行している。それに伴い本園と分園が連携し潤滑に運営している			○	
	毎日のクラスの様子を各クラスに伝達している（用紙）		○		
	各クラスの保育内容を把握し、その中で疑問など実例を通して意見を出し合っている		○		
	行事の前には内容、役割分担、各係からの伝達など話し合いをしている。又、その内容をクラスに伝えている	○			
保育内容	遊びの中での学びをモットーに各クラス、子ども主体の保育を踏まえ子どもにとってどうなのか、何を求めているのかを知らうとしている		○		
	見通しをもって次のねらいを構想し、計画に繋げている		○		
	恵まれた自然環境の中で四季折々の自然素材を生かしたり遊んだりして身体全体を動かし色々な遊びに挑戦している	○			
	自ら考え行動することを楽しめる子、共に考え行動することを楽しめる保育をしている		○		
	子ども一人一人の人格を尊重し、十分に配慮している（愛着関係）	○			
	日誌やドキュメンテーションなどを書いた後、一日の振り返りが次の保育に繋がるようにしている		○		
家庭・地域社会との連携	保護者との信頼関係を築き、保護者の抱えている課題や悩みを捉えて関わる事ができている（個人面談など）		○		
	行事後、年度末にアンケートなどにより意見を聞いている	○			
	朝の受け入れ、降園の際の伝達は丁寧に詳しく聞きとり、一日の様子を伝えている	○			
	問題があった場合、その都度話し合いをしている（苦情等）	○			
	地域施設との交流、5園合同、小学校の交流に参加している	○			
	地域の行事に積極的に参加し、地域の文化生活に触れている	○			
情報の発信	ペーパーレスを目指し、毎月アプリによる情報発信をしている	○			
	伝達することは玄関ホール、各クラスの入り口に掲示して伝えている	○			
	園活動の様子をドキュメンテーションで掲示し伝えている	○			
研修	外部研修（キャリアアップも含む）に職員が積極的に参加できる様にし、園に戻りその内容を伝達、発表している	○			
	園内研修ではただ知識を吸収するだけの内容ではなく、明日に繋がる保育となるよう、参加者全員が保育や子どもについて話し合う研修をしている		○		
	各自、研修しやすくする為に保育のデザイン研究所のオンライン研修がいつでもどこでも受けられる様設定している			○	
	研修内容として嘔吐処理、心肺蘇生などを積極的にとり入れ、職員一人一人が身につけられるようにしている	○			
環境	屋内の消毒をし、清潔な環境にしている（玩具等含む）	○			
	毎日、毎月の安全点検を行っている（園舎、園庭等）		○		
	分園の開設により園庭スペースをいかした遊具の設置とブルーベリー、梅等の栽培をしている	○			